

# 対する代表質問

本定例会冒頭で市長が述べた令和8年度施政方針に対して、市議会各会派の代表5名が、3月4日の本会議で代表質問を行いました。主な内容は次のとおりです。

## 稲志会



**問** 国の令和8年度一般会計予算案に係る情報収集と対応は。

**答** 財務省や総務省などの公的機関の公開情報等を通じて情報収集し、機動的に対応していく。

**問** 令和8年度予算編成の基本の第一に対する行財政運営について。

**答** 都市基盤整備や公共施設の整備など、将来に向けた投資を着実に推進していくために、世代間の負担の公平性を確保する観点からも、市債を最大限活用し、財政負担の年度間調整を図り、持続可能な行財政運営に努める。

**問** 令和8年度予算編成の基本の第二にある「機動的」に込められた思いは。

**答** 多様化する市民ニーズや行政課題に対して、スピード感を持ち柔軟に対応することで、市民サービスの向上に取り組む。

**問** 令和8年度予算編成の基本の第四に対する施策の優先順位付けへの取り組みについて。

**答** 各所管課で、各種事業の決算状況や実績を検証し積算されたものを、予算編成政策会議および財政課による査定にて総合的に判断し、決定する。

**問** 全中学校の特別教室のうち空調未設置教室に空調設備を設置する工事の概要とスケジュールについて。

**答** 33教室のうち、令和7年度に設置済以外の9教室に設置する。令和8年度夏季休業期間を中心に工事を行う予定。

**問** 稲城駅、市役所、市立病院間を往復する無料送迎ワゴン車の運行の概要について。

**答** 10人乗りワンボックスカー1台を平日午前8時から午後3時まで

## 土居議員

での時間帯で、一日7往復する。7月から運行予定。

**問** TOKYO GIANTS TOWN「ブランドオープン」に向けた公民連携による効果的な事業展開や周遊促進策の概要と地域活性化への波及効果は。

**答** 稲城市観光協会および読売巨人軍、よみうりランドと公民連携により、「TOKYO GIANTS TOWN」やよみうりランドの来客者の属性などの分析を行い、DXを活用したイベントの実施により、地域の活性化に繋げていく。

**問** 若葉台駅東地区の土地画整理の事業化促進に向けた支援の概要について。

**答** 稲城市土地画整理事業調査補助規則に基づき、組合設立準備に係る調査費用について、2千万円を上限に、準備会に対して補助を行うもの。

**問** 下水道管の点検・調査の概要と経営基盤強化に向けた取り組みについて。

**答** 稲城市ストックマネジメント計画実施方針に基づき、点検・調査を実施し、適正な維持管理に努める。経営基盤強化に向けた取り組みについては、稲城市下水道事業経営戦略に基づき、4月から実施される、東京都流域下水道維持管理負担金の大幅増額に対応する下水道使用料の改定を検討する。

**問** 稲城駅前開設する(仮称)稲城マイナンバーカードセンターの概要と効果について。

**答** 専用窓口を駅前に設置し、多様な受付時間や開所日により、市民の利便性の向上を図る。

## 新政会

**問** 南山地区の学童クラブ待機児童対策における児童数のピークアウトを見越した事業運営の実施方法について。

**答** 南山地区における児童人口の推計をもとに、令和9年4月1日から令和19年3月31日までの10年間を実施期間とし、民設民営により運営業務を委託する。

**問** 市制施行55周年記念「全国将棋サミット2026」いなぎ将棋まつりについて。

**答** 10月3日、4日に開催予定。円滑な実施に向けて、公益社団法人日本将棋連盟との協議を適宜行っていく。

**問** 市立病院の無料送迎ワゴン車の運行開始について。

**答** 運行ルートについては、路線バスおよび稲城市コミュニティバス第3期見直しにおける見直し方針に基づき決定したバスを補完する交通手段として、稲城駅、市役所、市立病院、相互の利便性が高まることから、選定した。

**問** 認知症高齢者グループホームの開設による認知症対策の向上と効果について。

**答** 認知症になっても、市内の認知症高齢者グループホームで共同生活をしながら住み慣れた地域で暮らし続けられることである。

**問** 大丸地区のJRR南武線高架下公園整備について。

**答** 外周フェンスや公園灯の設置など大丸自治会との合意形成により策定された整備方針に基づいて実施する。

## 梶浦議員



の整備、地区内の無電柱化などにより、地域の防災性や安全性の向上が図られるとともに、都市農地の集約化や新たな土地活用などにより、良好な市街地が形成される。

**問** 京王相模原線稲城駅ホームドア整備に係る費用補助について。

**答** 令和8年度のホームドアの供用開始に向け、市から補助金を交付するにあたり、ホームドア以外のホームとの隙間解消などに関する課題についても、あわせて解決できるように協議を行っている。

**問** 京王よみうりランド駅南口駅前広場の横断歩道橋、エレベーターの詳細設計について。

**答** 人流動線のイメージとしては、駅改札口から、改修する階段もしくは、入れ替え予定のエレベーターで横断歩道橋に上がり、よみうりV通りを横断し、よみうりランドのスカイシャトル乗場付近に接続するルートとなる。

**問** 災害用トイレカーの整備について。

**答** 整備に関する財源については、都の避難所環境整備・災害時トイレ確保等区市町村支援事業補助金を活用する。維持管理については、現時点で特段の財源はないが、専門業者による消毒を含めた清掃を委託し、使用後の維持管理に努めていく。

**問** (仮称)稲城マイナンバーカードセンターの場所、開設のスケジュールについて。

**答** 開設場所は京王リトナード稲城3階、令和8年5月31日に開所予定。

**問** 都市施設である三沢川や多3・4・36号小田良上平尾線など

## 公明党

**問** 第五次稲城市長期総合計画の後期計画初年度として重点的に取り組む施策と成果目標は。

**答** 5つのまちづくりの基本目標を柱として、全体のバランスに考慮し、前期と同様の成果目標に向け、取り組んでいく。

**問** 「こども誰でも通園制度」の実施スケジュールについて。

**答** 子ども・子育て支援法に基づき新たな給付として、4月1日から実施予定。

**問** 産婦及び1か月児健康診査事業で経済的負担の軽減および産後フォロー体制の整備を進めるに至った背景および経緯は。

**答** 近年、産後うつや養育環境の不安定さなど、早期に切れ目のない支援を行う必要性の高まりにより、整備が進められている。都が、都内共通で受診できる仕組みづくりなどを行うことから、市でも新たに健康診査事業と費用助成を開始する。

**問** 城山小学校の空き教室を利用し開室する学習支援拠点「梨の実ルーム分室」の独自の取り組みと、ふれんど平尾にある「梨の実ルーム」との協働の取り組みについて。

**答** 児童・生徒の状況を踏まえながら、今後、検討していく。

**問** 稲城駅、市役所、市立病院間を往復する無料送迎ワゴン車を運行する効果について。

**答** 受診者の負担軽減が図られる。市立病院の認知度の向上、受診者確保により医療収益の増加が見込まれ、経営改善につながることを期待している。

**問** 生活保護受給世帯へのエアコン購入などの費用の一部支給の背景と経緯について。

## 湯谷議員



**問** 近年の猛暑により熱中症になる恐れがあるため、都が急ぎよ創設した補助事業を活用して実施するもの。

**問** 稲城駅ホームの隙間に対する転倒・転落防止対策について。

**答** 転落防止ゴムの設置などにより、段差や隙間を縮小する対策を図ると聞いている。

**問** バスの新路線運行の市民への周知および市民の要望をバス事業者へ伝えていくことは。

**答** 市広報に運行ルートやダイヤなどを掲載し、市民への説明の機会を設け、周知を図る。バスと路線バスの乗り継ぎ案内などの冊子を作成し、各公共施設で配布、市ウェブサイトに掲載する。市では、「稲城市コミュニティバス第3期見直しにおける見直し方針」などに基づき、バス事業者に要望している。今後、稲城市地域公共交通会議などで、市民ニーズなどを踏まえ、協議していく。

**問** 消防緊急通信指令設備の更新による効果について。

**答** 操作性や各設備の機能向上や「Live119映像通報システム」の導入により、的確な応急手当指導など通信指令業務の強化を図る。通信指令室を消防庁舎3階に移設により、災害対策本部との連携強化につながる。

**問** 災害用トイレカーの整備と平時における活用について。

**答** 発災時にライフラインが途絶した際の避難所の衛生環境確保や、大規模災害が発生した被災自治体へ派遣し、相互支援の態勢を強化する。貸し出しに関するルールを定め、地域行事など平時の活用を検討する。